

平成 16 年 6 月 25 日

各 位

会 社 名 三井住友建設株式会社  
代表者名 代表取締役社長 友 保 宏  
(コード番号 1821 東証・大証 第一部)  
問 合 せ 先 経 理 部 長 産 形 昭 夫  
(TEL 03-3225-5111)

平成 16 年 3 月期 決算短信 (連結) の訂正について

平成 16 年 5 月 27 日付けで発表いたしました「平成 16 年 3 月期 決算短信 (連結)」の記載内容に一部訂正がありましたので下記のとおりご報告いたします。  
なお、個別財務諸表につきましては、変更ありません。

記

1. 訂正の内容

連結キャッシュ・フロー計算書におきまして、「貸株預り保証金の受入額」を営業活動によるキャッシュ・フローに記載しておりましたが、財務活動によるキャッシュ・フローとして取り扱うことが妥当であると判断したため、平成 16 年 5 月 27 日公表済み決算短信 (連結) 及び添付資料を訂正いたします。

2. 訂正箇所

前項訂正に伴い、以下の項目につき訂正をするものです。  
なお、訂正箇所は\_\_\_\_\_線で表示しております。

(1) 決算短信 (連結)

1. 16年3月期の連結業績	訂 正 前	訂 正 後
(3) 連結キャッシュ・フローの状況		
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,344百万円	19,538百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,672百万円	8,672百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,479百万円	714百万円
現金及び現金同等物期末残高	23,953百万円	23,953百万円

(2) 添付資料

(3 経営成績及び財政状態)

項 目	訂 正 前	訂 正 後
2 財政状態	<p>キャッシュ・フローにつきましては、建設事業資金需要の増加等により営業活動によるキャッシュ・フローは153億円の資金の減少となりました。</p> <p>投資活動によるキャッシュ・フローは資産売却を促進したことにより87億円の資金の増加となりました。</p> <p>財務活動によるキャッシュ・フローは増資金800億円を借入金 の返済に充当するとともに、借入金の更なる圧縮に努め35億円の資金の減少となり、以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は240億円となっております。</p>	<p>キャッシュ・フローにつきましては、建設事業資金需要の増加等により営業活動によるキャッシュ・フローは<u>195億円</u>の資金の減少となりました。</p> <p>投資活動によるキャッシュ・フローは資産売却を促進したことにより87億円の資金の増加となりました。</p> <p>財務活動によるキャッシュ・フローは増資金800億円を借入金 の返済に充当する一方、<u>貸株預り保証金の受入により7億円の資金の増加</u>となりました。</p> <p>以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は240億円となっております。</p>

## ( 4 連結財務諸表等)

( 単位：百万円 )

項 目	訂 正 前	訂 正 後
	当連結会計年度	当連結会計年度
	( 金 額 )	( 金 額 )
連結キャッシュ・フロー計算書		
営業活動によるキャッシュ・フロー		
( 中 略 )		
未成工事受入金の減少額	18,350	18,350
その他負債の増加・減少( )額	894	5,088
その他	3,622	3,622
小 計	7,163	11,357
利息及び配当金の受取額	2,522	2,522
利息の支払額	10,012	10,012
法人税等の支払額	692	692
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,344	19,538
( 中 略 )		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
( 中 略 )		
少数株主への配当金の支払額	8	8
貸株預り保証金の受入額	-	4,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,479	714
( 中 略 )		
XI 現金及び現金同等物の期末残高	23,953	23,953

以 上